

レバーホイスト RN1形

取扱説明書

- ご使用になるお客様に必ずお渡しください。
- ご使用になるお客様は必ずお読みください。

このたびはニッチレバーホイストをお買い求めいただき、
まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 保守や点検の際には、この取扱説明書が必要になります
ので、お読みになったあとは、大切に保管してください。

お客様メモ	製品の形式	
後日のために銘板を見て記入しておいてください。お問い合わせや、 部品のご用命の際お役に立ちます。	製造番号	
	購入年月日	・ ・

はじめに

本書はレバーホイストを安全にご使用いただくため、正しい取り扱いと守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

レバーホイストをお使いになる作業の方および据え付けする方、保守をする方、機械を管理する方を対象として内容をまとめています。

保証・免責について

お買い上げ後、一年以内に発生した故障であって本書記載通りのご使用であれば、修理または部品の交換を行います。

ロードチェーンおよびブレーキライニングの消耗品については保証の対象外です。

尚、次のような場合も保証の対象外となり、弊社は一切責任を負いませんのでご注意ください。

- 定格荷重を超える過負荷で使用することで生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 製品および付属品を改造することにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 自然災害（火災、地震、雷等）、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用中または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、つり荷の損害など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない機器類との組み合わせにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

使用制限について

- レバーホイストは、荷を水平・斜め方向の引き寄せ、つり上げたり、また荷を締め付けたりする用途に使用ください。
- 人間の運搬および移動等などには使用しないでください。
- 設備機械等などの一部として、製品を組み込んで使用しないでください。

操作・使用する方について

- レバーホイストのご使用に際し、法規上特段の規制はありませんが、レバーホイストの操作および使用を行う方は、安全作業のために玉掛け技能を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連製品の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で操作および使用を行ってください。
- 操作および使用する方は、正しい服装と保護具を着用して行ってください。

安全上のご注意

レバーホイストの使い方を誤ると、つった荷物の落下などの危険な状態になります。

据え付け・取り付け・操作・保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、注意事項を「危険」、「注意」の2つに区分しています。

■表示の説明



取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

■記号の説明



禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や付近に具体的な禁止内容が記載されています。



使用者の義務的な行為を指示するものです。
図の中や付近に具体的な指示内容が記載されています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



危険



- 取扱説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 定格荷重を超える荷は、絶対に掛けないでください。
- つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。
また、人の頭上を越えての荷の運搬はしないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするレバーホイストは使用しないでください。
- ロードチェーンに次の異常があるときには絶対に使用しないでください。
ねじれ、もつれ、き裂、噛み合い異常があるもの。
規定より伸び、摩耗が大きいもの。
- レバーにパイプなどを差し込んでの操作や足で踏みつけるような操作は絶対にしないでください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- レバーホイストを高所より投げたり、持ち運びする時、引きずったり、放り投げたりしないでください。
レバーホイストが破損したり傷ついたりして、事故につながる恐れがあります。
- 本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解してください。

目次

各部の名称	3
諸元表	4
開梱時の確認と記録	5
操作方法	5
作業を行う前のご注意	6
作業中のご注意	7
作業後のご注意	8
点検	9
部品表・部品コード番号一覧表	13
お問い合わせ先	

各部の名称

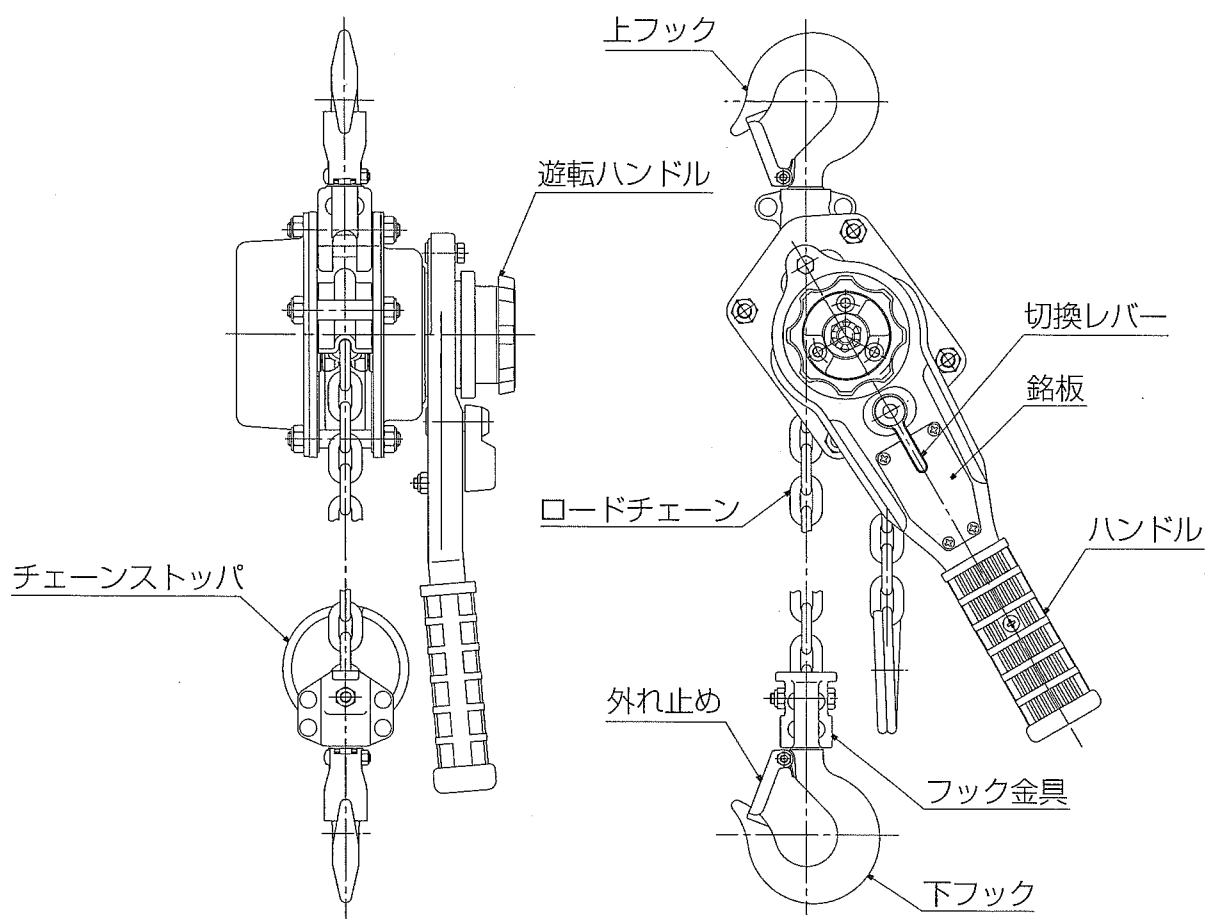
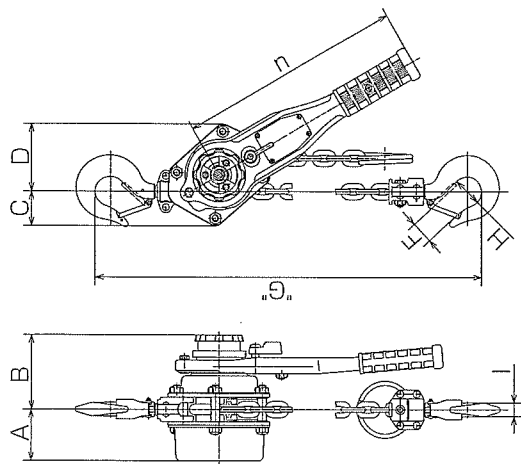
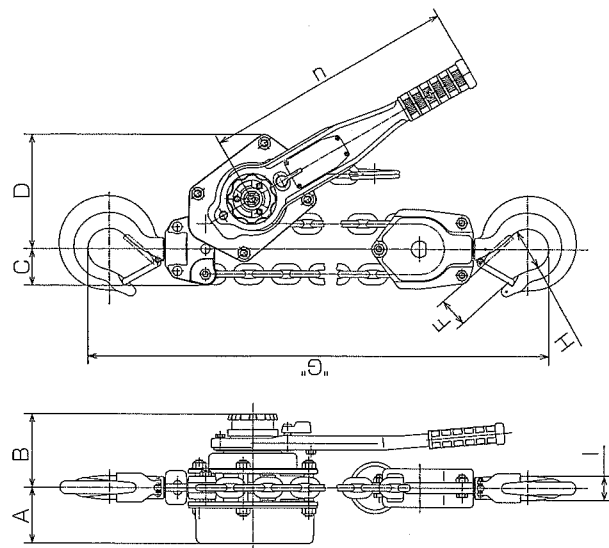


図 1

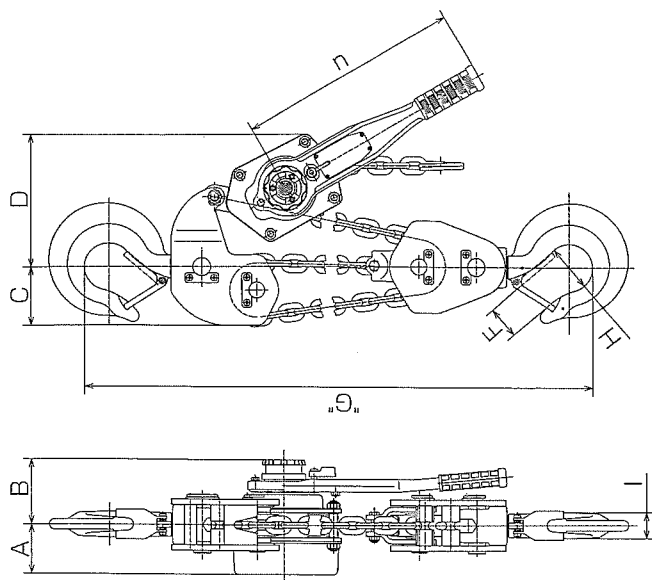
諸元表



RN10050~RN10320



RN10630



RN10900

品 番	定 格 荷 重 (t)	標 準 揚 程 (m)	試 験 荷 重 (t)	ロードチェーン		フック間 最小距離 G (mm)	手動力 (N)	質 量 (kg)	外 形 寸 法 (mm)							
				線 径 (mm)	掛 数 (本)				A	B	C	D	F	H	I	n
RN10050	0.5	1.5	0.75	5	1	290	244	5.1	57	93	38	80	22	35	15.5	247
RN10080	0.8		1.2	5.6		320	328	6.2	60	95	44	89	23.5		14	
RN10100	1		1.5	6.3		325	298	7.2	66	96	47	93	27	40	20.5	
RN10160	1.6		2.4	7.1		380	386	9.9	74	107	49.5	97.5	32.5	42.5	19	326
RN10320	3.2	1.5	4.8	10	2	485	379	19.9	89	117	63	138.5	39	50	24.5	406
RN10630	6.3		7.9			595	401	29.3			58	182.5	46	65	42	
RN10900	9		11.3		3	770	377	53			105.5	239	55	85	47	

諸元表の数値は改良のため変更することがあります。

開梱時の確認と記録

- ①製品が届きましたら、箱の表示および製品がご注文された内容と一致するかどうか確認してください。
- ②製品が運送中の事故などで、変形や破損がないことを確認してください。
- ③保守・管理のため、フックの口の開き寸法A、フックの厚み寸法Hを記録しておいてください。（P9参照）

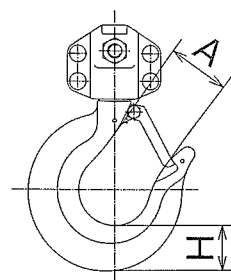


図 2.

操作方法

①巻上げ・巻下げ操作

巻上げを行う場合は、切換レバーを「UP」の位置に合わせ、レバーを時計まわりに操作してください。

フックを掛けた後、ロードチェーンにたるみがあるときは、遊転ハンドルを時計方向に、たるみがなくなるまで回してください。

巻下げを行う場合は、切換レバーを「DOWN」の位置に合わせ、レバーを反時計まわりに操作してください。



危険

- 軽荷重で巻下げ操作を行う場合には、十分な制動が得られないことがありますので、荷の取り扱いにはご注意願います。



②遊転操作



危険

- 荷重が掛かっているときは、絶対に遊転操作をしないでください。



遊転は無負荷時にロードチェーンを自由に送ることができ、下フックを作業に適した位置に調整できます。操作方法は切換レバーを「N」の位置に合わせ、ロードチェーンを引っ張ってください。但し、次の様な場合は遊転操作が出来ないことがあります。

- 遊転ハンドルまたはレバーが他のものに接触して回転を妨げているとき。
- 強くロードチェーンを引っ張ったとき。
- ブレーキが締まっているとき。

（この場合は、一度巻下げ操作をしてブレーキを緩めてください。）
遊転操作が可能になります。

③遊転操作の解除

遊転状態を解除する場合は次のようにお取り扱いください。

- 遊転ハンドルを、時計方向に荷重がかかるまでまわす。
- 切換レバーを「UP」または「DOWN」の位置にし、フックに荷を掛けることにより遊転は解除されます。

※荷を保持する状態では切換レバーを常に「UP」の位置に切り換えてください。

作業を行う前のご注意



注 意

- 点検基準に基づいて、使用前の点検を行ってください。



危 険

- 取扱説明書および本体に取り付けられた銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 本体に取り付けられた銘板を外したり、不鮮明なまま使用しないでください。
- フックの外れ止めがないもの、または破損したままでは絶対に使用しないでください。
- 使用前にブレーキ動作を確認し、ブレーキが確実に作動しないときは使用しないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするレバーホイストは使用しないでください。
- フックの口の開きの寸法を確認して、口の開きに変化があった場合や変形、摩耗、腐食があれば使用しないでください。
※上記の現象があるフックはフック1式で取り替えてください。
- ロードチェーンに次の異常がある時は、絶対に使用しないでください。
き裂、噛み合い異常があるもの、規定より伸び、摩耗が大きいもの。
※取り替えが必要な場合は、弊社営業所に申し出てください。
- ロードチェーンに油を塗ってから使用してください。
※油はマシンオイルかギヤオイルが適当です。



- レバーホイストを低温度、高温、腐食雰囲気など特殊状態で使用する場合には、弊社営業所へご相談ください。



⚠ 危険

- 定格荷重を超える荷は絶対に掛けないでください。
※定格荷重を超える荷を掛けると構造部分や駆動部分の破壊、変形等が生じ、思いがけない事故、災害につながる恐れがありますので、定格荷重を超えるつり荷を絶対に掛けてはいけません。
- ロードチェーンを直接、荷に巻き付けないでください。(図3)
- フックの先端部分で荷を掛けないでください。(図4)
- 図5のように専用つり具をご使用ください。
- 過巻き、過戻しをしないでください。
- 荷重を宙づり状態のまま、操作位置を離れないでください。
- つり荷の下やつり荷の動く範囲に入らないでください。
また、人の頭上を越えての荷の運搬はしないでください。
- つり荷の反転作業はしないでください。
- 巻下操作によりつり荷を巻下げるとき、障害物に引っ掛けるなどして、見かけ上無負荷の状態にならない様にしてください。
- 荷重の掛かっているときは、絶対に遊転操作をしないでください。
- 荷重を宙づりしたままで電気溶接などをしないでください。
- ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。
- ロードチェーンに溶接用電極を接触させないでください。
- チェーンストッパに注意して作業してください。
巻下げ作業ではチェーンの残りに注意して、チェーンストッパが本体にあたらないように心がけてください。
- 操作中は荷から気をそらさないでください。
- レバーを故意に長くして使用しないでください。
- 足でレバーを踏みつけて操作しないでください。
- 手動力が異常に大きくなった場合は、直ちに操作を中止してください。
- 手動力が通常より大きくなったレバーホイストは使用しないでください。
- 鋭利な角にロードチェーンを接触させないでください。
- レバーホイストを、高所より投げたり、持ち運びする時引きずったり、放り投げたりしないでください。
- 荷締め後は切換レバーの位置を「UP」にしてください。
- 水中で作業をしないでください。
- レバーホイストを設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
- レバー操作が正しくできる様に作業場所を確保してください。
- ロードチェーンにねじれがないか確認し、ねじれがあれば下フックのフック金具を回転させて直してください。
- ロードチェーンの特にリンクの接触部に油を塗ってから使用してください。(図6) ※油はマシン油かギヤ油が適当です。



図 3

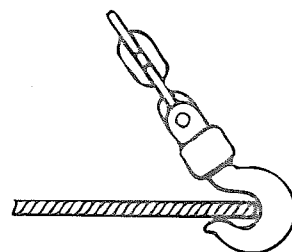


図 4

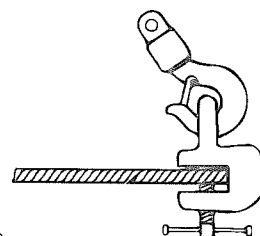


図 5

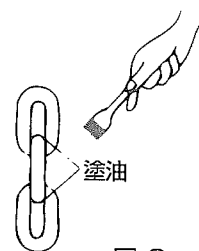


図 6

⚠ 危 険

- 玉掛け用具はフックに正しく掛けてください。
- 玉掛けを行なった後、外れ止めが正しい位置にあるか確認をしてください。
- 共づりする場合は、1台のレバーホイストでもつり上げられる荷重としてください。また、つり角度により作用する荷重が変化しますので注意してください。
- ロードチェーンの掛け数が2本以上の場合は、下フックがロードチェーンの間をくぐって反転し、ロードチェーンがねじれていないか確認してください。（図7）
- レバーホイストのロードチェーン長さが適切かどうか確認してください。

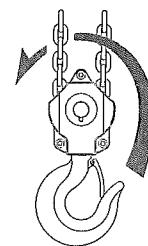


図7

作業後のご注意

⚠ 注 意

- 泥や水気を拭き取って塗油してから格納してください。
※給油箇所はロードチェーン、及びフックの首の部分です。
- ブレーキライニングには絶対に塗油しないでください。
- 雨や露のかからない、湿気のない所に格納してください。



点 検

⚠ 危 険

- 製品の改造は絶対にしないでください。
- ニッチ純正部品以外は、絶対に使用しないでください。
- ロードチェーンの切断、継ぎ足しは絶対行わないでください。



- 保守点検修理は、専門業者あるいは事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 保守点検をするときは、必ずつり荷がない状態で行ってください。
- 保守点検で異常箇所があったときは、そのまま使用せず、直ちに補修してください。
- 修理をするときは、取り外し地面へ降ろして行ってください。



⚠ 注 意

- 保守点検をするときは、作業中の注意表 **点検中** を必ず取り付け、誤って使用されないように区別してください。



1. フックの点検

⚠ 危 険

- 上下フックの検査を行った後、次の状態が確認された場合は、必ず交換してください。
 - 口の開きが増大しているもの。
 - き裂が入ったもの。
 - 玉掛け用具と接触する部分の摩耗が認められるもの。



フックの口の開き寸法と摩耗量を測定し、次の条件を満足しない場合は交換してください。

①口の開き寸法

フックの口の開き寸法Aが、開梱時の寸法をこえていないこと。 開梱時の寸法

②フックの摩耗量

フックの厚み寸法Hが、表1の限界寸法以上であること。

A	mm
H	mm

備考

フックは熱処理等により、記載しています基準寸法より多少の誤差が生じます。
ご購入時に寸法を確認し、記録ください。

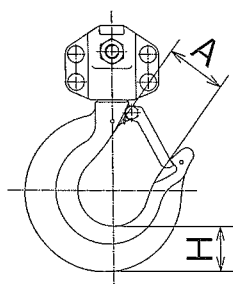


図 8

表1

単位 (mm)

定格荷重 (t)	A 基準寸法	H	
		基準寸法	限界寸法
0.5	29.4	19.3	18.3
0.8	28.0	20.3	19.3
1	34.2	25.1	23.8
1.6	34.6	25.7	24.4
3.2	42	31	29.4
6.3	53.2	44.5	42.3
9	68.9	62.5	59.4

2. ロードチェーンの点検



危 険

●ロードチェーンの点検を行なった後、次の状態が確認された場合は、

必ず交換してください。

- ピッチが伸びたもの。
- 傷や変形のあるもの。
- さびているもの。



ロードチェーンのピッチ寸法Pが表2の限界寸法をこえた場合、または線径dが限界寸法以下に減少した場合は、交換してください。

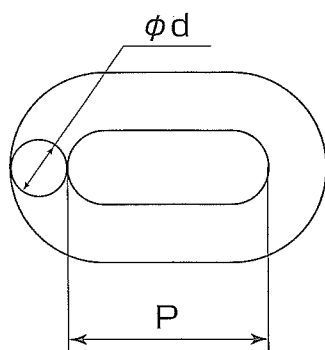


図 9

表2

単位 (mm)

定格荷重 (t)	P		φd	
	基準寸法	限界寸法	基準寸法	限界寸法
0.5	15.1	15.8	5.0	4.5
0.8	17.1	17.9	5.6	5.1
1	19.1	20.0	6.3	5.7
1.6	21.2	22.2	7.1	6.4
3.2・6.3・9	30.3	31.8	10.0	9.0

※ロードチェーンの摩耗が大きい場合は、ロードシーブやロードチェーンガイドの摩耗状態も確認してください。

3. 点検基準

表3

	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
表示	○	○	表示（銘板）	目視	表示（銘板）の有無
作動	○	○	巻上げ・巻下げ作動	軽負荷で巻上げ・巻下げを行う。	1.巻上げでブレーキ装置のつめの音がすること。 2.巻上げ・巻下げの作動が、円滑であること。 3.巻下げでブレーキに異常がないこと。
	—	○	※作動	作動は表4に示す作動荷重をつり、表5の作動距離を2回巻上げ・巻下げを行う。	1.ロードチェーンとロードシーブとの噛み合いは良好であること。 2.歯車の噛み合いは良好で、円滑に作動すること。 3.ブレーキは確実に作動すること。 4.巻上げ・巻下げに際して、ロードチェーンに、ねじれおよびもつれがないこと。 5.巻上げるときの手動力が、著しく変わらないこと。
	○	○	切換レバー	操作	円滑に切り換えできること。
	○	○	遊転装置	操作	円滑に遊転できること。
フック	○	○	口の開き	日常点検では目視 定期点検では測定	標準寸法と比較し、変形がないこと。 表1 参照。（使用前に主要寸法表を作成しておくこと。）
	○	○	変形	目視	曲がりおよびねじれがないこと。
	○	○	首部の変形	目視	フック金具とフックの首部に著しい隙間がないこと。 首部のゆがみがないこと
	○	○	摩耗、腐食	日常点検では目視 定期点検では測定	著しい摩耗及び腐食がないこと。
	○	○	きず、その他有害な欠陥	目視	き裂、その他有害な欠陥がないこと。
	○	○	外れ止め	目視・作動	著しい摩耗、変形がなく、正しく機能すること。

※定期点検における作動は、分解・組立などの整備後に行ってください。

	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
ロードチェーン	○	○	ピッチの伸び	日常点検では目視 定期点検では測定	摩耗などによりロードチェーンのピッチが5%以上伸びているものは使用しないこと。表2参照。 (使用前に主要寸法表を作成しておくこと)
	○	○	摩耗	日常点検では目視 定期点検では測定	線径の摩耗が10%以上のものは使用しないこと。表2参照。
	○	○	変形	目視	変形がないこと。
	○	○	きず、その他有害なき裂	目視	き裂、きずなどの有害な状態がないこと。
	○	○	腐食	目視	著しいさびが発生していないこと。
本体	○	○	プレート	目視	変形及び著しい腐食がないこと。
	○	○	ギヤケース	目視	著しい変形及び腐食がないこと。
	○	○	チェーンストッパ	目視	1.チェーンストッパがあること。 2.著しい変形がないこと。
ボルト・ナット等	○	○	各部のボルト、ナット、リベット	目視	1.日常点検では外部から見える箇所のボルト、ナット、リベットなどがあること。又、ボルト、ナット、リベットのゆるみがないこと。 2.定期点検では外部及び内部の上記部品に異常がないこと。
他	—	○	その他	作動	その他使用上有害な欠陥がないこと。

※定期点検における作動は、分解・組立などの整備後に行ってください。

表4 作動試験における作動荷重

単位 (t)

定格荷重	0.5	0.8	1	1.6	3.2	6.3	9
作動荷重	0.75	1.2	1.5	2.4	4.8	7.9	11.3

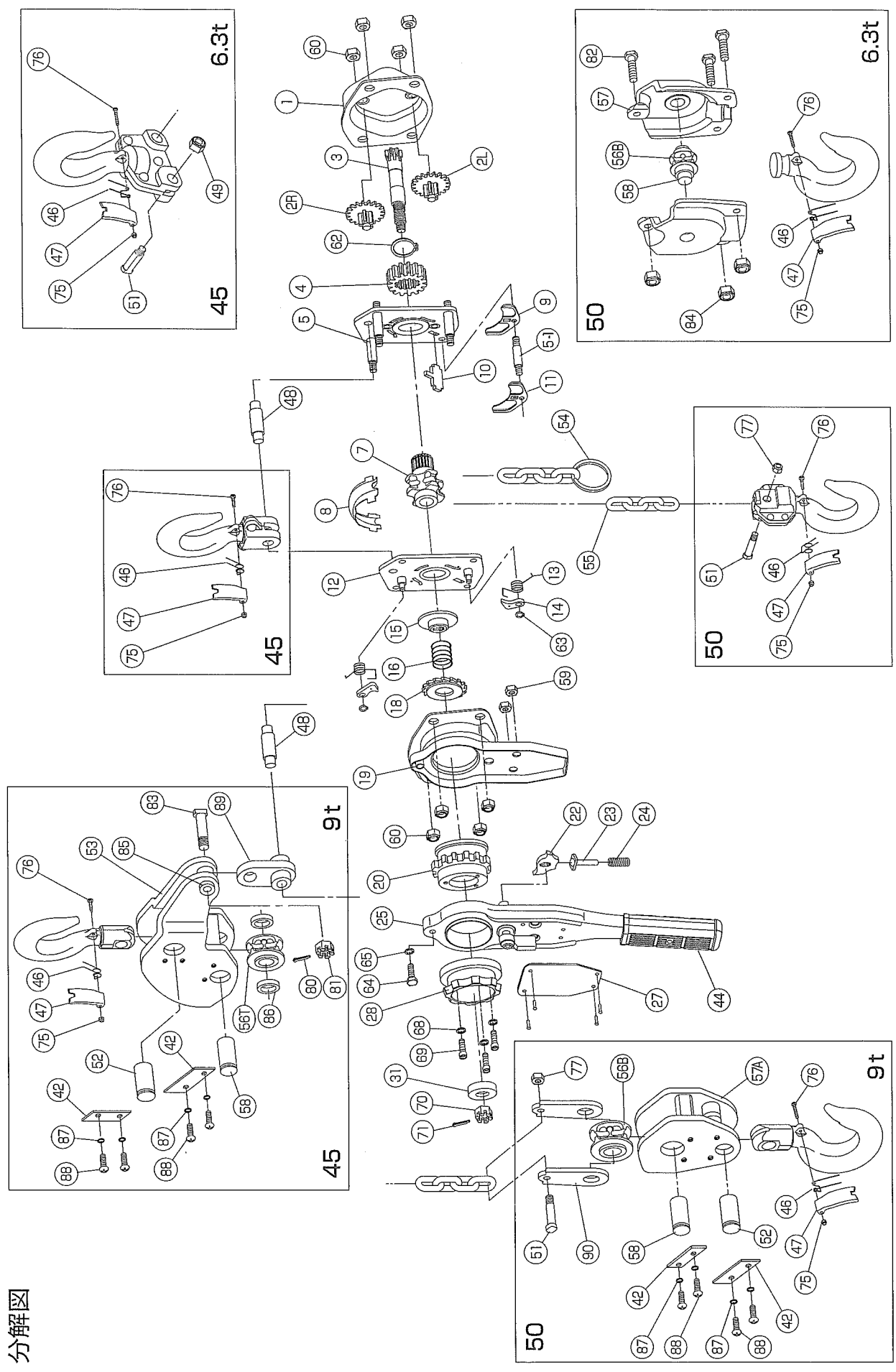
回数は、巻上げ・巻下げの往復で1回とする。

表5 作動試験における作動距離

ロードチェーン 掛数	作動 距離	適用
1本	30cm	0.5～3.2t
2本	15cm	6.3t
3本	10cm	9t

部品表・部品コード番号一覧表

分解図



部品表

品番	部 品 名	個数	0.5t	0.8t	1t	1.6t	3.2t	6.3t	9t
1	ギヤケース1式	1	SB050-103GT	SB075-103GT	SB100-103GT	SB150-103GT		SB300-103T	
2R	ピニオンギヤ1式 (右)	1	SB050-202GT	SB075-202.1GT	SB100-202GT	SB150-202GT		SB300-202T	
2L	ピニオンギヤ1式 (左)	1	SB050-213GT	SB075-202.2GT	SB100-202GT	SB150-202GT		SB300-202T	
3	ピニオンシャフト	1	SB050-201G	SB075-201G	SB100-201G	SB-150G-201		SB300-201	
4	ロードギヤ	1	SB050-204G	SB075-204G	SB100-204G	SB150-204G		SB300-204	
5	ギヤサイドプレート1式	1	SB050-101GT	SB075-101GT	SB100-101V2T	SB-150G-101T		SB300-101T	
5-1	スレーボルト	1	SB050-110G	SB075-110	SB100-110G	SB150-110		SB300-110	
7	ロードシープ	1	SB050-206V2	SB080-206V2	SB100-206V2	SB160-206V2		SB320-206V2	
8	ロードチェーングайд	1	SB050-207G	SB075-207G	SB100-207V2	SB150-207		SB300-207	
9	ガイドプレート (右)	1	SB050-112G	SB075-112G	SB100-112G	SB150-112G		SB300-112G	
10	ストリップ	1	SB050-208G	SB075-208	SB100-208G	SB150-208		SB300-208	
11	ガイドプレート (左)	1	SB050-111G	SB075-111G	SB100-111G	SB150-111G		SB300-111G	
12	ハンドルサイドプレート1式	1	SB050-107GU	SB075-107GU	SB100-107V2U	SB-150G-107U		SB300-107U	
13	つめ用ばね	2		SB050-305			SB150-305		
14	つめ	2		SB050-307			SB150-307		
15	ディスクハブ	1	SB050-301G	SB075-301	SB150-301			SB300-301	
16	遊転用ばね	1		SB050-304				SB300-304	
18	つめ車1式	1	SB050-303GS	SB050-303S	SB150-303S			SB300-303S	
19	ラチェットカバー1式	1	SB050-401VS	SB075-401VS	SB100-401VS	SB150-401VS		SB300-401VS	
20	ディスクナット	1	SB050-209V	SB075-209	SB150-209G			SB300-209	
22	ハンドルボール	1		SB050-407			SB150-407		
23	スプリングシャフト	1		SB050-408			SB150-408		
24	切換用ばね	1		SB050-409			SB150-409		
25	ハンドル1式	1		SB075-402V2T	SB150-402V2T			SB300-402V2T	
27	銘板	1	GRN1027	IRN1027	JRN1027	KRN1027	NRN1027	QRN1027	SRN1027
28	遊転ハンドル	1		SB075-205V		SB150-205V		SB300-205V	
31	ピニオンシャフト用カラー	1		SB050-210G		SB150-210		SB300-210	
42	キープレート	4	--	--	--	--	--	--	PHD10-2005

品番	部 品 名	個数	0.5t	0.8t	1t	1.6t	3.2t	6.3t	9t
44	ハンドルキャップ	1	SB075-412V2			SB150-412V			
45	上フック1式	1	SL-0.5A-1002TU	SB080-501KTU	SL-1A-1002TU	SB160-501KTU	SB320-501KTU	SL-5A(S)-1002TU	SL-10A-1002TU
46	外れ止め用ばね	2	SB050-503	SB080-503K	SL-1A-2104	SL-1.5A-2104	SL-10A-2104	SL-5A-2104	SL-10A-2104
47	外れ止め	2	SL-0.5A-2103	SB080-502K	SL-1A-2103	SL-1.5A-2103	SB320-502K	SL-5A-2103	SL-10A-2103
48	上フックピン	1	SB050-102	SB075-102	SB100-102G	SB150-102	SB300-102	SB300-510	
49	Uナット	1	—	—	—	—	—	M10	—
50	下フック1式	1	SL-0.5A-1002BU	SB080-501KBU	SL-1A-1002BU	SB160-501KBU	SB320-501KBU	SL-5A(S)-1002BU	SL-10A-1002BU
51	テールホルダ用ボルト	1	SL-0.5A-2102	SL-0.75A-2102	SL-1A-2102	SL-1.5A-2102	SL-3A-2102		
52	フックピン	2	—	—	—	—	—	—	PHD10-2002
53	上枠1式	1	—	—	—	—	—	—	SB900-531S
54	チェーンストップパ	1	SB050-506			SB150-506			
55	ロードチェーン	1	φ5	φ5.6	φ6.3	φ7.1	φ10		
56T	アイドルシーズ（上）	1	—	—	—	—	—	—	HSZ-10CII-3003
56B	アイドルシーズ（下）	1	—	—	—	—	—	SB600-509	HSZ-10CII-2001
57	テールホルダ	1	—	—	—	—	—	SB600-507	—
57A	下枠1式	1	—	—	—	—	—	—	SB900-533S
58	ホイールピン	[]内	—	—	—	—	—	SL-5A(S)-2002[1]	HSZ-10CII-2002[2]
59	Uナット	2	M6			M8			
60	Uナット	8	M8			M10	M12		
62	軸用C形止め輪	1	22	26		30	42		
63	軸用C形止め輪	2	8			9			
64	六角ボルト	1	M6×10			M8×14			
65	ばね座金	1	6			8			
68	ばね座金	3				6			
69	六角穴付ボルト	3				M6×10			
70	六角菊ナット	1			M10	M12			
71	割りピン	1			2.5×20	2.5×25			
75	Uナット	2			M4	M6	M4	M6	M6

[illegible]

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It features approximately 20 horizontal dashed lines spaced evenly across the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.

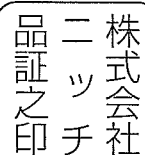
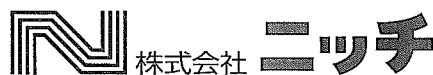
お問い合わせ先

製品にご不明な点があれば、必ず下記に問い合わせてください。

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-1000号 電話 (06) 6344-6231 FAX. (06) 6456-2920
東大阪工場 〒578-0924 大阪府東大阪市吉田4丁目7番17号 電話 (072) 961-2181 FAX. (072) 961-2188
E-mail info@nitchi.co.jp http://www.nitchi.co.jp/
東京営業 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-21住友不動産ビル5階 電話 (03) 5437-7839 FAX. (03) 5437-7826
E-mail tokyo@nitchi.co.jp
名古屋営業 〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木1-2-4 電話 (052) 323-2539 FAX. (052) 323-2528
E-mail nagoya@nitchi.co.jp
大阪営業 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-400号 電話 (06) 6344-6488 FAX. (06) 6344-6492
E-mail osaka.branch@nitchi.co.jp
九州営業 〒812-0893 福岡市博多区那珂6-1-37 電話 (092) 451-1170 FAX. (092) 412-1775
E-mail hakata@nitchi.co.jp

検査合格証

このニッチ製品は弊社の製品規格にもと
づき厳密且つ合理的な品質管理のもとに
作られ、さらに厳重な検査に合格したこ
とを証明します。



- 本書の内容につきましては、予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして、不明な点、お気づきの点がございましたら、弊社営業までお問い合わせください。